SONY

4-099-792-03 (1)

お客様・販売店様・特約店様用

壁掛けユニット

取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。

お客様へ
本製品の取り付けには、確実な作業が必要になります。必ず、販売店や工事店に依頼して、安全性に充分考慮して確実な取り付けを行ってください。

⚠警告 安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。**この取扱説明書をよくお読みのうえ、**製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

販売店様・特約店様へ
プラズマテレビの取り付けには特別な技術が必要ですので、設置の際には取扱説明書をよくご覧の上、設置を行ってください。取り付け不備や、取り扱い不備による事故、損傷については、当社では責任を負いません。なお、この取扱説明書は、取り付け作業後にお客様に渡してください。

この壁掛けユニットは下記指定機器専用です。指定機器以外にはお使いにならないでください。

指定機器（2004年4月現在）

フラットパネルデジタルテレビ	KDE-P32HV2 KDE-P37HV2 KDE-P42HV2 KDE-P42HX2 KDE-P50HX2 KDE-P55HX2 KDE-P61HX2 KDE-P42HX2N KDE-P50HX2N KDE-P61HX2N KDE-P42HZ1 KDE-P50HZ1
フラットパネルカラーテレビ	KE-P32TC2 KE-P37TC2
液晶デジタルテレビ	KDL-L42HX2

SU-PW2

安全のために

ソニー製品は安全に充分配慮して設計されています。しかし、まちがった使いかたをすると、火災・感電・転倒・落下などにより人身事故になることがあり危険です。事故を防ぐために安全のための注意事項を必ずお守りください。

警告表示の意味

取扱説明書では、右のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠警告　この表示の注意事項を守らないと、火災・感電・転倒・落下などにより死亡や大けがなどの人身事故につながることがあります。

⚠注意　この表示の注意事項を守らないと、けがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号		行為を禁止する記号
火災	感電	禁止

お客様へ

⚠警告　火災　感電

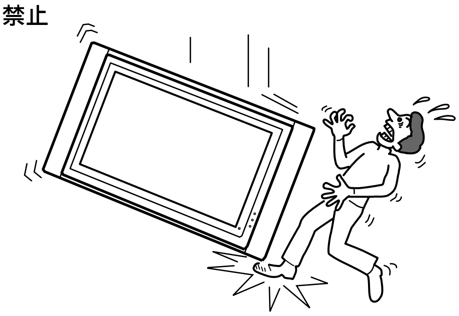
下記の注意事項を守らないと火災・感電・転倒・落下などにより死亡や大けがの原因となります。

取り付け工事は専門業者に依頼する また取り付けのときは幼児を遠ざける

禁止

正しく取り付けないと、以下のようなことがおこります。取り付けは専門業者にご依頼ください。

- ディスプレイが落ちると、打撲や骨折など大けがの原因となります。
- 強度の弱い壁や、平面ではなかったり垂直ではない壁に取り付けた場合、壁掛けユニットの落下によるけがや破損の原因となります。壁の強度は、少なくともディスプレイ重量の4倍は必要です。（ディスプレイの重量は7ページのディスプレイ取り付け寸法表をご覧ください。）
- 壁への取り付けがもろい場合、壁掛けユニットの落下によるけがや破損の原因となります。



ディスプレイの移動や取りはずしは、専門の業者に依頼する

専門業者以外の人が移動や取りはずしを行うと、ディスプレイが落下したりして、けがや破損の原因となることがあります。また、移動や取りはずしは、必ず2人以上で行ってください。

ディスプレイに水などの液体をかけない

水が入ったり、ぬれたりすると、火災や感電の原因となります。

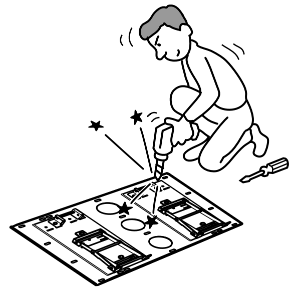
ディスプレイを取り付けたあとはネジなどをはずさない

ディスプレイが落ちて、けがや破損の原因となります。

取り付け部品の分解、改造、変更は行わない

壁掛けユニットの落下によるけがや破損の原因となることがあります。

禁止



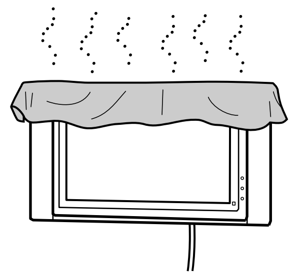
指定機器以外のものを掛けない

この壁掛けユニットは指定機器専用です。指定機器以外の物を掛けると、落下によるけがや破損の原因となることがあります。

ディスプレイの通風孔をふさがない

ディスプレイの上に布などをかけて通風孔をふさぐと、内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。

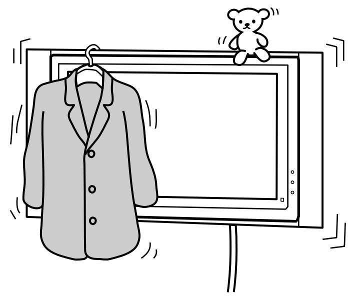
禁止



ディスプレイ以外の荷重を掛けない

落下によるけがや破損の原因となることがあります。

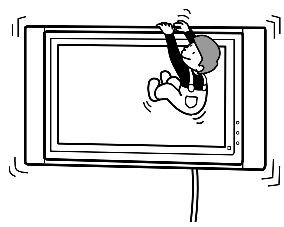
禁止



ディスプレイに寄りかかったり、ぶら下がったりしない

ディスプレイがはずれ、下敷きになり大けがの原因となることがあります。

禁止



ディスプレイを雨や湿気にさらさない

水が入ったり、ぬれたりすると、火災や感電の原因となります。

湿気やほこり、湯気の多い場所、機械的振動の多い場所に置かない

火災や感電の原因となることがあります。

火のついたロウソクや燃えやすい物を近くに置かない

火災を防止するために、ディスプレイから離れた所に置いてください。

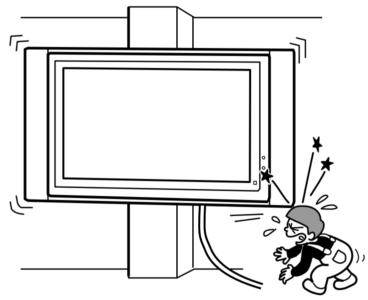
⚠注意

下記の注意事項を守らないとけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

ディスプレイがはみ出すような取り付けはしない

壁掛けユニットを、柱などのディスプレイがはみ出してしまうような場所には取り付けないでください。身体や物などがぶつかってけがや破損の原因となります。

禁止



掃除やお手入れのときは、力をかけない

掃除やお手入れのときに、ディスプレイの上面に手を置いたり、力をかけたりしないでください。ディスプレイの落下によるけがや破損の原因となります。

エアコンの上や下にはディスプレイを取り付けない

送風などで直接、風が当たり続けたり、水もれによってぬれたりすると、火災や感電、故障の原因となることがあります。

使用上のご注意

- 壁掛けユニットにディスプレイを長期間取り付けてご使用されたときは、壁の材質によっては、ディスプレイの放熱により、背面や上面にあたる壁面が変色したり、壁紙がはがれたりすることがあります。
- 壁掛けユニットをいったん取り付けると、はずした場合に、壁にネジ穴が残ります。
- 壁の中に300 Ωフィーダー線をすでに使っている場合は、壁の中の300 Ωフィーダー線を75 Ω同軸線に変更することをおすすめします。
  やむを得ず300 Ωフィーダー線を使用する場合は、設置工事を始める前に、ディスプレイと壁の中にあるフィーダー線との距離が充分に確保できているかを確認してください。
  また、雑音電波などの影響がでない場所などを事前に設置業者の方とご確認のうえ、工事を始めてください。

壁掛けユニットを取り付ける

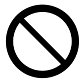
販売店様・特約店様用

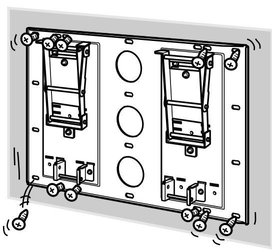
⚠警告　お客様へ

本製品の取り付けには、確実な作業が必要になります。必ず、販売店や工事店に依頼して、安全性に充分考慮して確実に取り付けを行ってください。

販売店様・特約店様へ

以下の説明は、サービス専用です。安全上のご注意をよくお読みの上、設置および保守・点検などを安全に行ってください。


禁止



取り付け手順に従って、しっかり取り付ける

ネジがゆるんでいたり抜けていたりすると、壁掛けユニットが落下して、けがや破損の原因となります。壁の材質に合ったネジ（M8相当4本以上）で、しっかりと固定してください。

付属品のネジおよび取り付け金具は、取扱説明書の使用方法を守ってご使用ください。また、取扱説明書にない代替品を使用すると、落下によるけがや破損の原因となることがあります。

組み立て手順に従って、正しく組み立てる

ネジがゆるんでいたり、抜けていたりすると、落下によるけがや破損の原因となることがあります。

ネジは指定された位置にしっかりと締め付ける

ディスプレイが落下して、けがの原因となることがあります。

取り付け作業中にディスプレイに衝撃を与えない

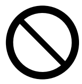
ディスプレイが落下したり、壊れたりして、けがの原因となることがあります。

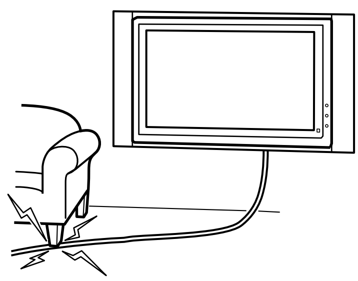
垂直で平らな壁面にディスプレイを取り付ける

垂直ではなかったり、平らではない壁面に取り付けると、ディスプレイが落下して、けがの原因となります。

取り付け作業が適切に完了したら、ケーブル類を固定する

ケーブル類を足に引っかけたりすると、けがをしたり、ディスプレイを破損したりすることがあります。


禁止



電源コードおよび接続ケーブルをはさまないようにする

電源コードおよび接続ケーブルを壁面にはさんだり、無理に曲げたり、ねじったりすると、芯線が露出したり、ショート、断線して、火災や感電の原因となります。

取り付けるときには、手や指を傷つけないように注意する

壁掛けユニットやディスプレイを取り付けるときに、手や指を傷つけないようにご注意ください。

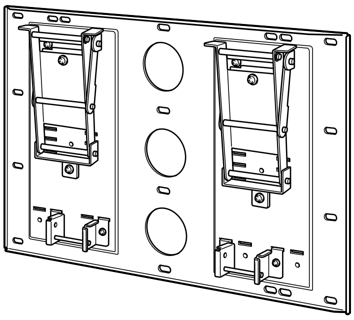
壁掛けユニットを壁面に固定するネジは付属しません

壁の材質や構造に適したネジをご使用ください。

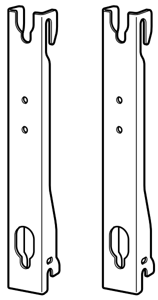
手順 1：取り付けに必要な部品を確認する

1 **取り付ける壁の材質に合ったM8相当4本以上のネジ（付属品ではありません）とドライバーを用意する。**

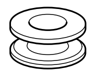
2 **梱包を開いて、部品を確認する。**



プレートユニット（1）



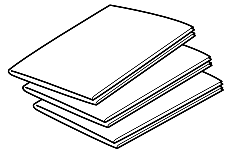
マウンティングフックユニット（2）



フック（4）



ネジ（＋B6×L20）（2）



型紙（3枚1組）



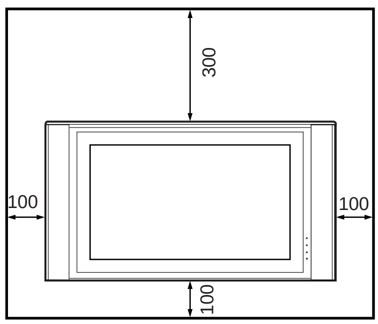
ネジ（＋PSW5×L16）（6）

手順 2：取り付け位置を決める

1 **垂直で平らな壁面に、型紙をあて、それぞれのディスプレイに合った取り付け位置を決める。**

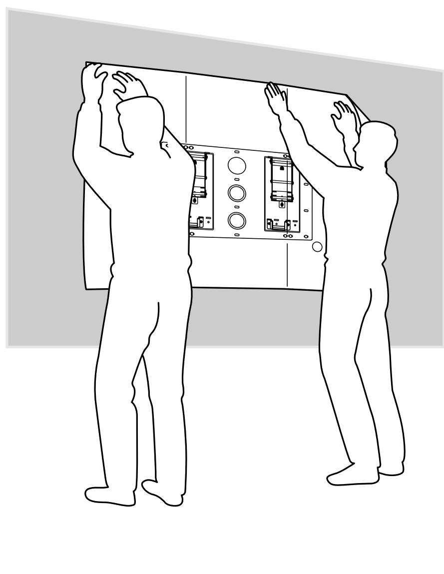
付属の3枚の型紙を市販のテープ等で貼り合わせてご使用ください。貼り合わせかたについては、型紙をご覧下さい。
また、ディスプレイの周囲には、右図に示す寸法のあきが必要です。

単位：mm

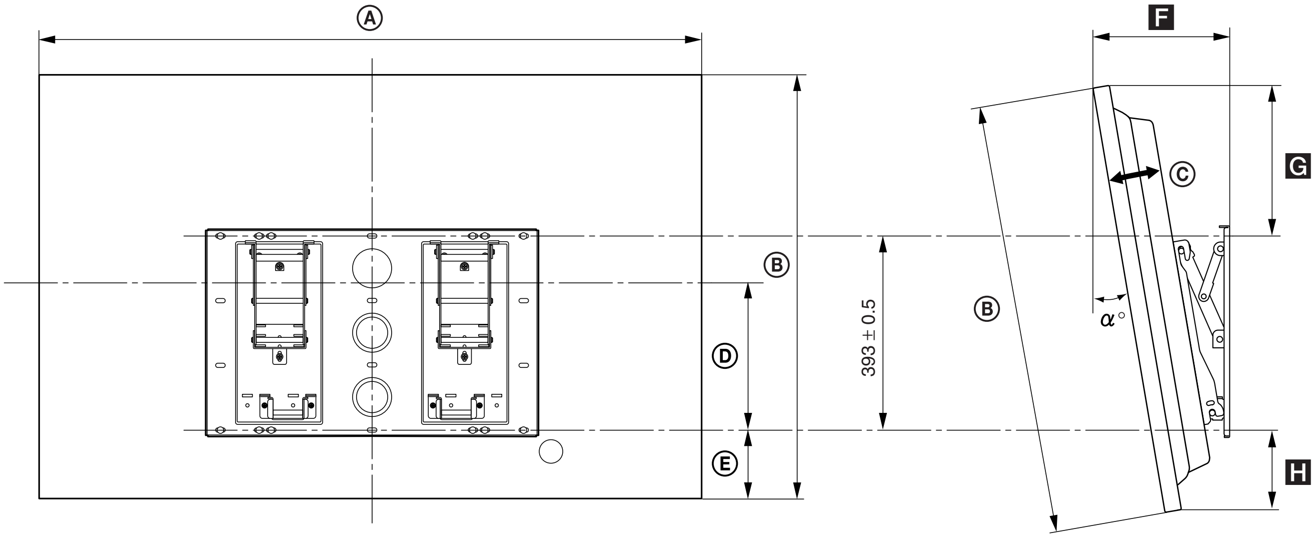


ご注意

壁の中にケーブル類を配線する場合は、あらかじめ壁に穴を開け、配線できるかをお確かめください。それぞれのディスプレイに合った穴の位置が型紙および8ページに示されています。



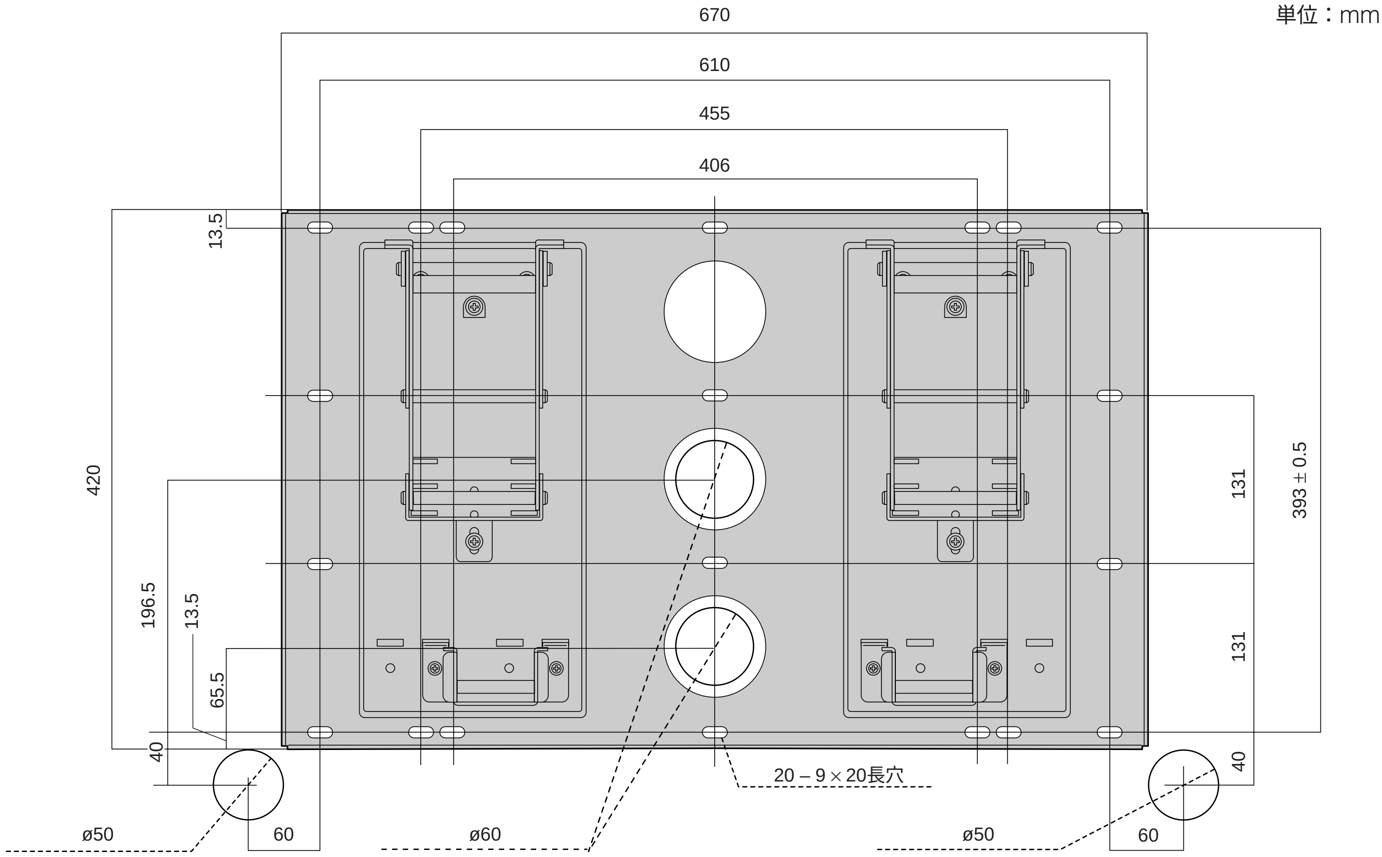
ディスプレイ取り付け寸法表



ディスプレイ型名	ディスプレイ寸法 単位：mm					取り付け角度による長さ 単位：mm				重量 (×4) *
	Ⓐ	Ⓑ	Ⓒ	Ⓓ	Ⓔ	取り付け角度（α°）	F	G	H	
KDE-P32HV2/ KE-P32TC2	1012	544	110	210	75	0°	165	76	75	29 (116)/ 27.5 (110) Kg
						5°	202	66	84	
						10°	238	51	94	
						15°	273	33	103	
						20°	305	13	111	
KDE-P37HV2/ KE-P37TC2	1135	617	110	246	75	0°	165	149	75	35 (140)/ 33 (132) Kg
						5°	209	138	84	
						10°	251	123	94	
						15°	292	104	103	
						20°	330	82	111	
KDE-P42HV2	1229	678	110	277	75	0°	165	210	75	39 (156) Kg
						5°	214	199	84	
						10°	262	183	94	
						15°	307	163	103	
						20°	351	139	111	
KDE-P42HX2 KDE-P42HX2N KDE-P42HZ1	1352	720	102	224	138	0°	157	198	138	39 (156) Kg
						5°	204	179	147	
						10°	250	164	155	
						15°	294	146	162	
						20°	336	124	168	
KDE-P50HX2 KDE-P50HX2N KDE-P50HZ1	1573	856	108	292	139	0°	163	324	139	53 (212) Kg
						5°	222	312	149	
						10°	279	296	157	
						15°	334	274	165	
						20°	387	249	171	
KDE-P55HX2	1710	870	109	299	138	0°	164	339	138	62 (248) Kg
						5°	224	327	148	
						10°	283	311	157	
						15°	340	289	165	
						20°	394	263	171	
KDE-P61HX2 KDE-P61HX2N	1797	937	110	335	137	0°	164	407	137	71 (284) Kg
						5°	230	395	147	
						10°	295	378	156	
						15°	358	355	164	
						20°	418	327	171	
KDL-L42HX2	1349	694	102	224	126	0°	157	175	126	31 (124) Kg
						5°	203	165	135	
						10°	247	151	144	
						15°	290	133	151	
						20°	332	111	157	

* 取り付ける壁にはディスプレイ重量の4倍に耐えられる強度を要します。

壁面加工用寸法図



ケーブル配線用穴
KDE-P55HX2

ケーブル配線用穴
（2つのうちどちらか）
KDE-P32HV2 KE-P32TC2
KDE-P37HV2 KE-P37TC2
KDE-P42HV2

ケーブル配線用穴
左記6モデル以外の
ディスプレイ

型紙と上図を参照して、ネジ穴の位置と壁の中にケーブル類を配線する場合にあける穴の位置を確認し、壁面加工を行ってください。

⚠警告

取り付ける壁にはディスプレイ重量の4倍に耐えられる強度を要します（☞7ページ）。取り付け位置の壁面強度をご確認ください。強度が不足する場合は、充分な補強を行ってください。

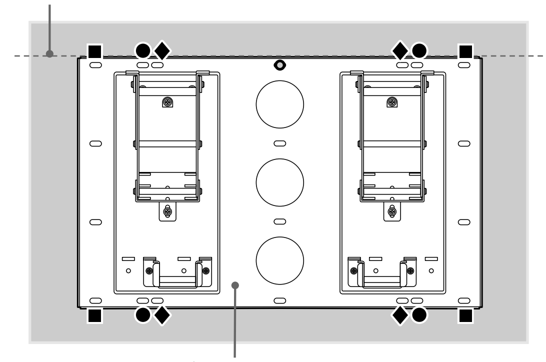
ご注意

壁にあける穴の位置は、ディスプレイによって違います。型紙や上図に示されている位置に正しく穴をあけてください。

手順 3：プレートユニットを壁に取り付ける

1 プレートユニットをM8相当4本以上のネジ（付属品ではありません）で固定する。

右図で示す同じ印のネジ穴を少なくとも4か所選び、ゆるみがないようにしっかりとネジ留めしてください。



⚠警告

- 壁掛けユニットを壁面に固定するネジは付属しません。必ず、壁の材質や構造に適したネジをご用意ください。
- 強度不足のときはネジを追加してください。
- プレートユニットが確実に壁に取り付けられたかを確認してください。

2 アームの角度を調整する。

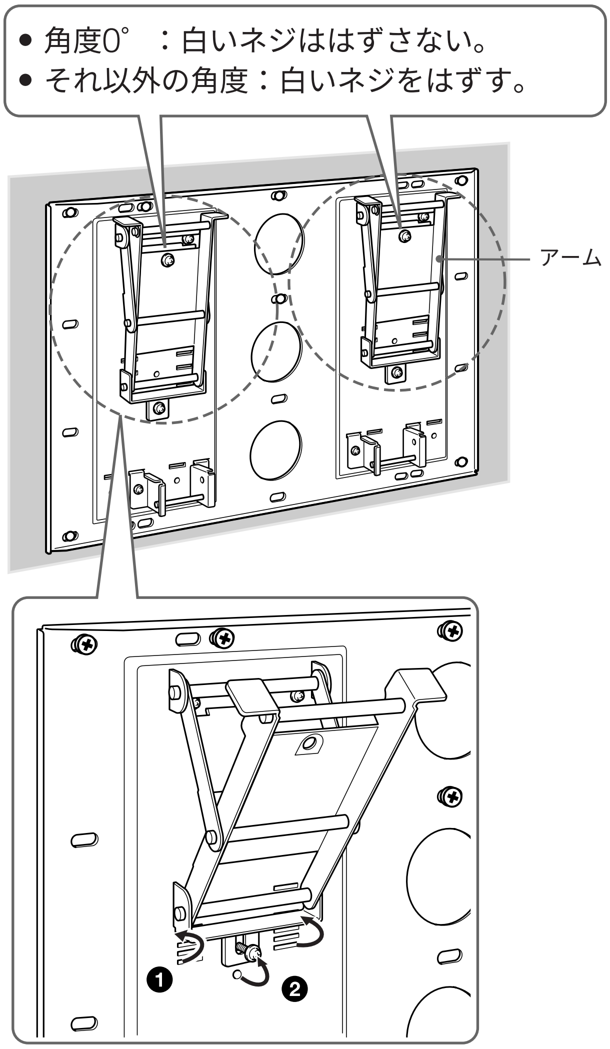
ディスプレイを垂直に取り付けて使用する場合（0°）は、角度調整（以下❶❷）をする必要はありません。アームがしっかりとネジ留めされているかを確認してください。

❶ 左右アームのそれぞれまん中にある上下2本のネジをはずして、変えたい角度のきりかきにアームを付け替える（5°、10°、15°、20°）。

❷ アームの下側を❶ではずしたネジでしっかりと固定する。

ご注意

- 左右のアームは必ず同じ角度に調整してください。
- アーム付け替えの際は、指をはさまないようにご注意ください。
- 電動ドライバーを使用する場合、締め付けトルクはおよそ2N・mに設定してください。
- フックユニット受けがしっかりとネジ留めされているかを確認してください。



取り付けるテレビがKDE-P32HV2、KDE-P37HV2、KDE-P42HV2、KE-P32TC2、KE-P37TC2の場合は、下記3を行ってください。

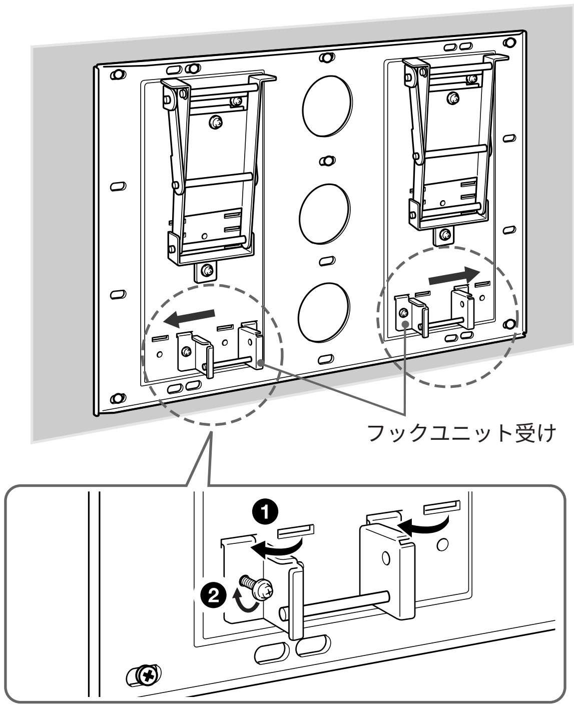
3 フックユニット受けを付け替える。

❶ 左右のフックユニット受けのネジをはずして、それぞれ外側のきりかきにフックユニット受けを付け替える。

❷ ❶ではずしたネジでフックユニット受けをしっかりと固定する。

ご注意

- KDE-P32HV2、KDE-P37HV2、KDE-P42HV2、KE-P32TC2、KE-P37TC2以外のディスプレイを取り付ける場合は、フックユニット受けは付け替えないでください。
- 電動ドライバーを使用する場合、締め付けトルクはおよそ2N・mに設定してください。



ディスプレイの取り付け準備をする

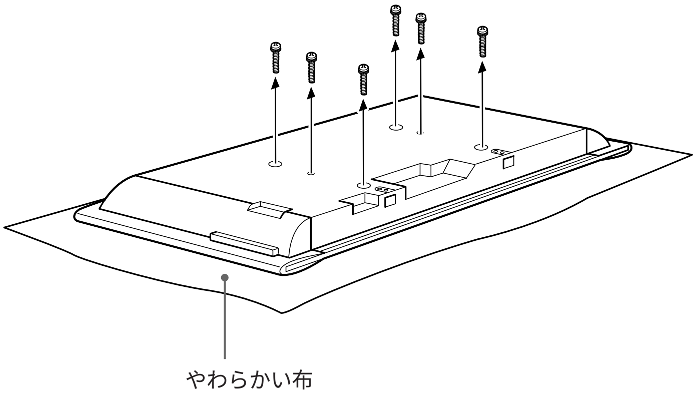
取り付けるディスプレイにより、準備の方法が違います。それぞれの製品ごとの手順をご覧いただき、取り付け準備をしてください。

ご注意

電動ドライバーを使用する場合、締め付けトルクはおよそ2N・mに設定してください。

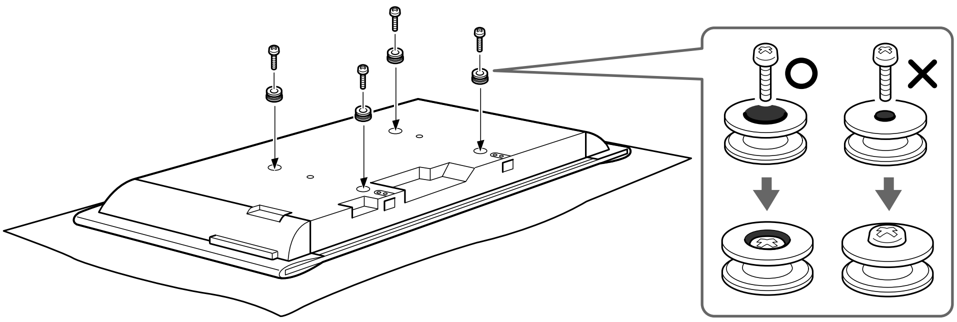
KDE-P32HV2
KDE-P37HV2
KDE-P42HV2
KE-P32TC2
KE-P37TC2

❶ テレビ後面のネジ6本をはずす。



（イラストのテレビはKDE-P42HV2です。）

❷ フック（付属）4つをネジ（付属＋PSW5×L16）4本で取り付ける。



KDE-P42HX2
KDE-P50HX2
KDE-P42HX2N
KDE-P50HX2N
KDE-P42HZ1
KDE-P50HZ1

準備の必要はありません。
次の手順に進みます。

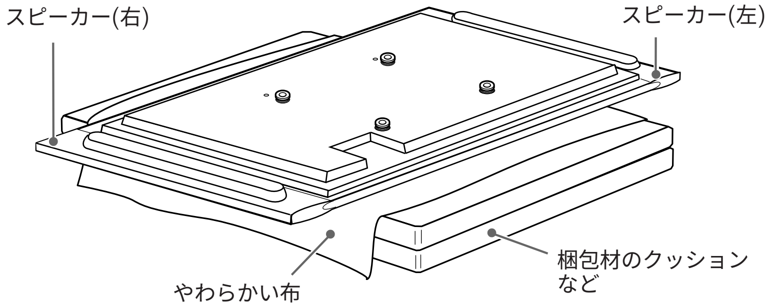
KDE-P55HX2 KDE-P61HX2 KDE-P61HX2N	(see below)

KDE-P55HX2
KDE-P61HX2
KDE-P61HX2N

❶ 梱包材のクッションなどをやわらかい布などで覆って床に置き、ディスプレイ面を下にして、ディスプレイを載せる。

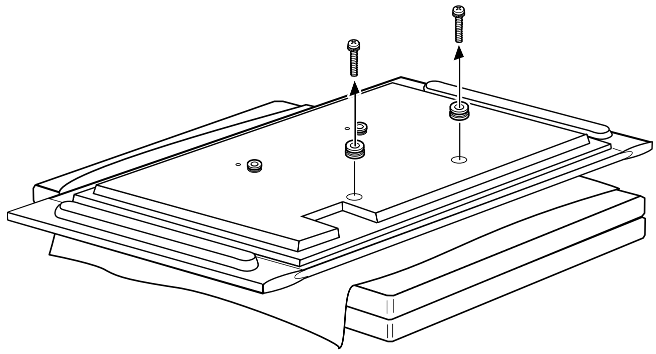
注意

- スピーカー部分にディスプレイの荷重がかかると、スピーカーの変形や接触不良の原因になります。以下のことにご注意ください。
  - ディスプレイを持ち運ぶ際は、スピーカー部分を持たないでください。
  - 梱包材のクッションなどを、床とディスプレイ面の間に置いて、スピーカー部分が触れないようにディスプレイを載せてください。
- 必ずディスプレイが安定するように置いてください。
- ディスプレイ面に傷や汚れがつかないように、やわらかい布などで保護してください。

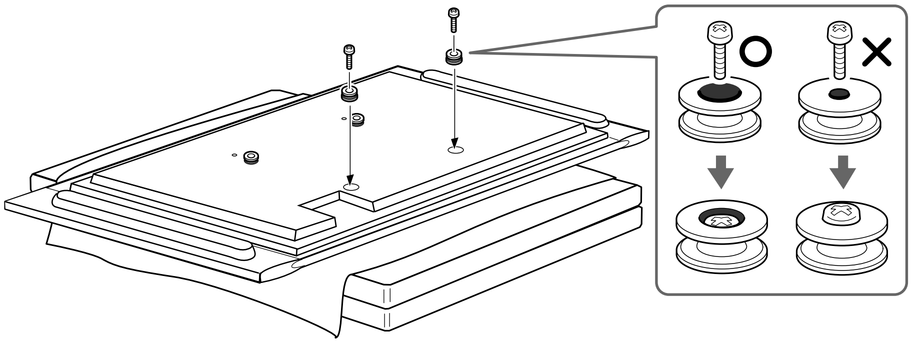


（イラストのディスプレイはKDE-P61HX2です。）

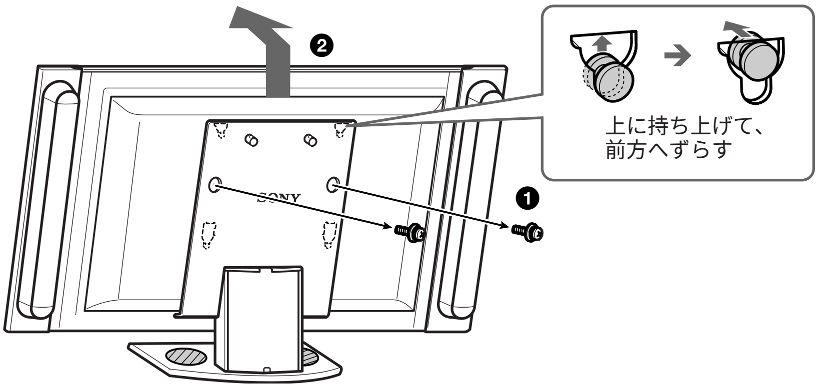
❷ ディスプレイ後面の下2本のネジとフック2つをはずす。



❸ フック（付属）2つをネジ（付属＋PSW5×L16）2本で取り付ける。



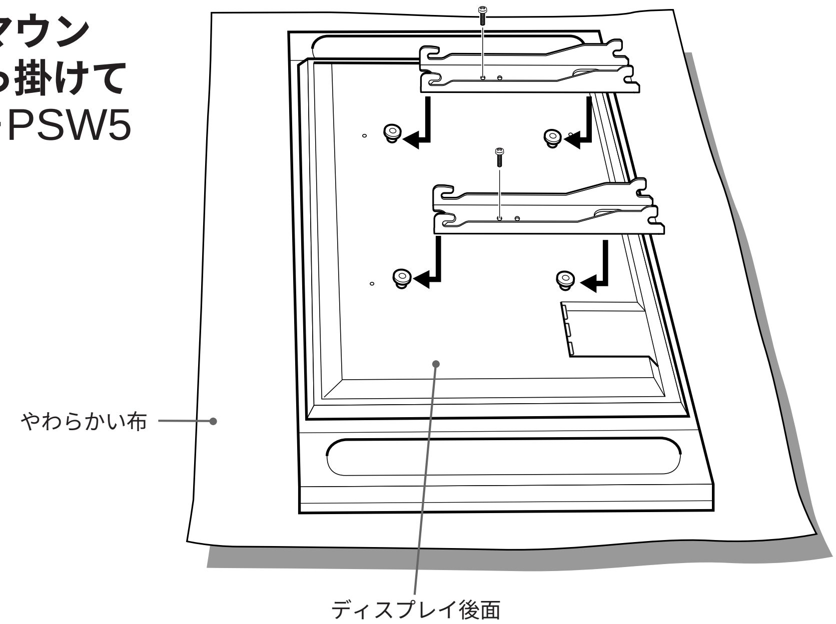
スピーカーをはずして、別売りのスピーカースタンドに取り付けて使用する場合は、この段階でスピーカーをはずしておきます。
スピーカーの取りはずしについては、ディスプレイの取扱説明書をご覧ください。
スピーカーのスタンドへの取り付けについては、スピーカースタンドの取扱説明書をご覧ください。

KDL-L42HX2	❶ スタンド中央のネジ2本をはずす。 ❷ スタンド（▨部分）を押さえて、2人以上でディスプレイを持ち上げ、前方へ移動させてスタンドからはずす。  **ご注意** スタンドを押さえないでディスプレイを持ち上げると、スタンドが同時に持ち上がることがあり、危険です。 **スピーカーをはずして、別売りのスピーカースタンドに取り付けて使用する場合は、この段階でスピーカーをはずしておきます。** **スピーカーの取りはずしについては、ディスプレイの取扱説明書をご覧ください。** **スピーカーのスタンドへの取り付けについては、スピーカースタンドの取扱説明書をご覧ください。**

手順 4：ディスプレイを取り付ける

⚠警告
すべての作業が終わるまで、電源コードをコンセントにつながないでください。機器などに電源コードをはさみこむと、ショートして感電する恐れがあります。
また、電源コードやディスプレイを足に引っかけると、転んでけがの原因となることがあります。

1 ディスプレイ後面のフックにマウンティングフックユニットを引っ掛けてスライドさせ、付属のネジ（＋PSW5×L16）でしっかりと留める。



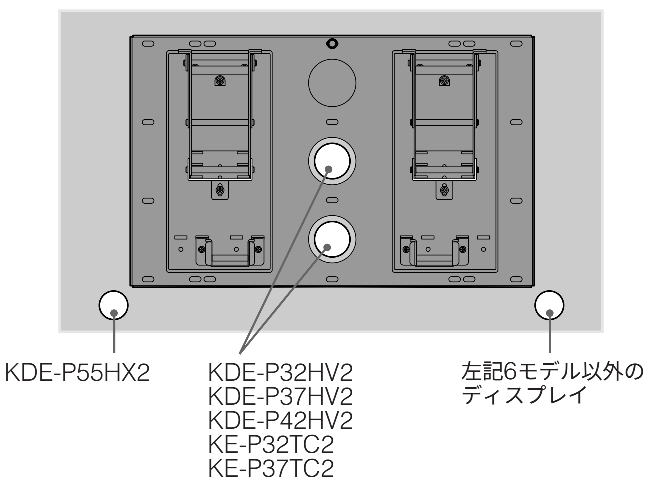
（イラストのディスプレイはKDE-P42HX2です。）

2 ディスプレイに、付属の電源コードおよび接続ケーブルをつなぐ。

ディスプレイの後面に電源コードおよび接続ケーブルをつないでください。接続のしかたについては、ディスプレイの取扱説明書をご覧ください。

壁の中にケーブル類を配線するときは、用意した穴（☞8ページ）にケーブル類を通してください。
穴の位置は、ディスプレイによって違います。

ご注意
- ディスプレイをプレートユニットにいったん取り付けると、ケーブル類をつなげなくなります。
- 壁の中の配線、電気工事は専門業者にご依頼ください。

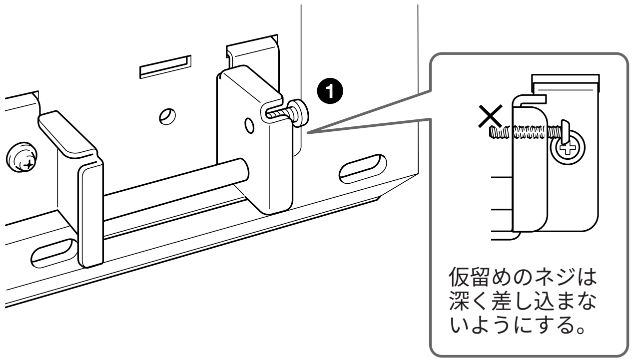


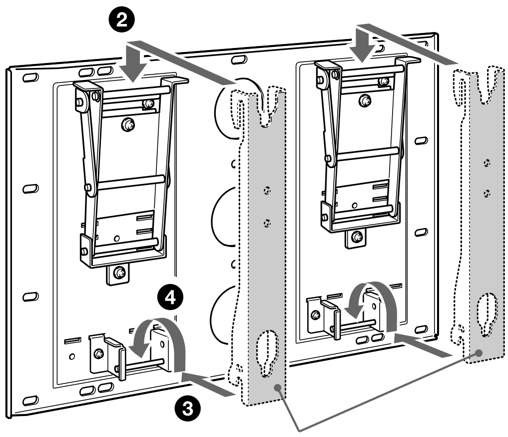
3 ディスプレイをプレートユニットに取り付ける。

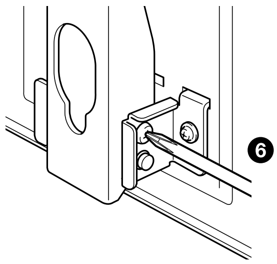
❶ 左右のフックユニット受けに、マウンティングフックユニット抜け止め用のネジ（付属＋B6×L20）をそれぞれ外側から差し込み、仮留めする。
❷ マウンティングフックユニット上側のフックをアームの横軸に掛ける。
❸ マウンティングフックユニット下側のフックをフックユニット受けの横軸にあてる。
❹ ディスプレイをプレートユニット側に押しあてながら、下から少しずつ持ち上げて、マウンティングフックユニット下側のフックをフックユニット受けの横軸に掛ける。
❺ 8か所のフックが確実に掛かっているかを確認する。
❻ ❶ で仮留めした抜け止め用のネジ左右各1本をしっかりと締め付ける。

ご注意

マウンティングフックユニット抜け止め用のネジを仮留めするとき（❶）、ネジがフックユニット受けの内側に飛び出していると、マウンティングフックユニット下側のフックを掛けることができません（❹）。







取り付け完了を確認する

以下の最終確認を行ってください。

- マウンティングフックユニットのフック8か所が軸に確実に掛かっていますか。
- ケーブル類がねじれたりはさまったりしていませんか。
- フックユニット受けの抜け止め用のネジ2か所は確実に締められていますか。

⚠警告

不完全な取り付けは、製品の落下によるけがや破損の原因となります。また、電源コードなどの不適切な処理は、ショートによる感電や火災を引き起こす恐れがあります。安全のために確認作業を確実に行ってください。

ディスプレイをはずすには　販売店様・特約店様用

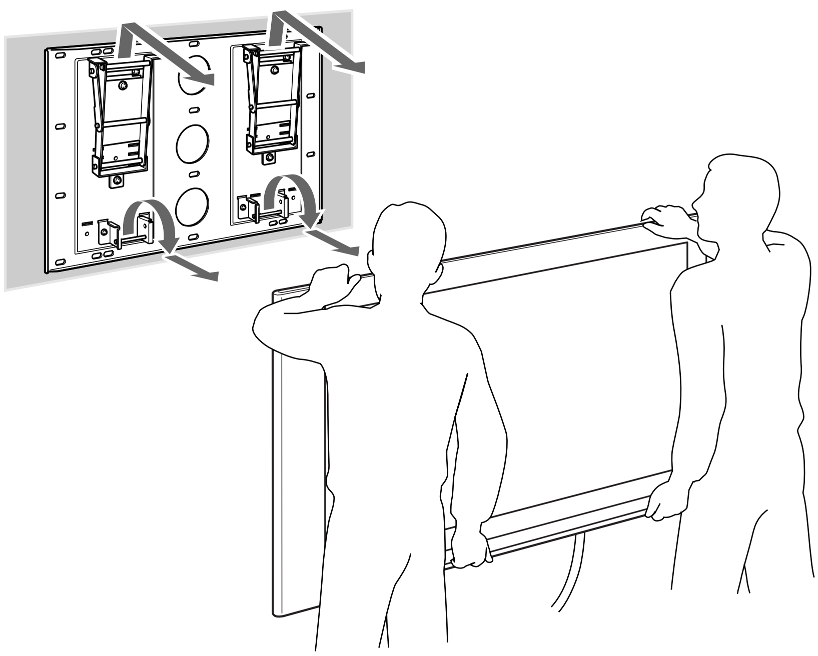
1 コンセントから電源コードを抜く。

2 左右のマウンティングフックユニット抜け止め用ネジ2本をはずす。

3 ディスプレイを2人以上で持ち、上に持ち上げてはずす。

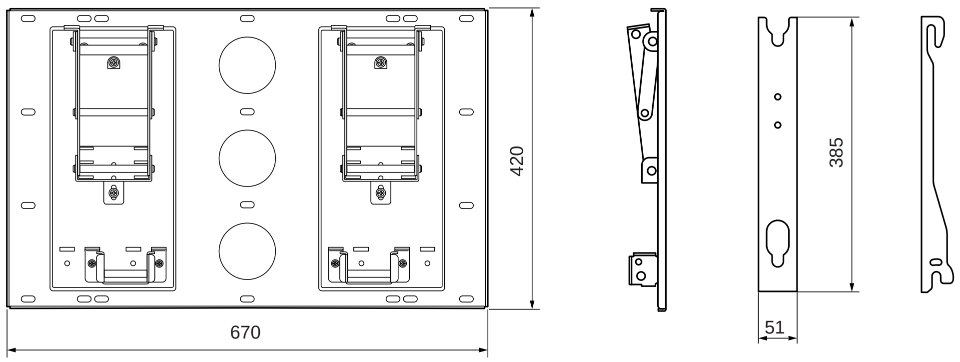
⚠警告

- ディスプレイは、必ず2人以上で持って移動させてください。
- ディスプレイをはずすときは、ケーブル類を引っ掛けないようにご注意ください。
- ディスプレイをはずすときは、手や指を傷つけないようにご注意ください。



主な仕様

単位：mm
質量：9 kg



本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

● http://www.sony.co.jp/SonyDrive/

お客様ご相談センター
● ナビダイヤル ········ 0570-00-3311
（全国どこからでも市内通話料でご利用いただけます）
● 携帯電話・PHSでのご利用は 03-5448-3311
（ナビダイヤルがご利用できない場合はこちらをご利用ください）
● FAX ···················· 0466-31-2595
受付時間 ：月～金 9:00～20:00 土・日・祝日 9:00～17:00
お電話は自動音声応答にてお受けしています。

ソニー株式会社 〒141-0001 東京都品川区北品川 6-7-35

この説明書は100%古紙再生紙とVOC（揮発性有機化合物）ゼロ植物油型インキを使用しています。

Printed in Japan